

事務事業名 国指定史跡阿志岐山城跡保存活用計画策定事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：1993

施策：	06	歴史の継承と文化の振興	財務コード	--
基本事業：	01	文化財の保護・利活用の推進	担当部	教育部
基本事業の成果指標	市内の文化財指定件数（累計） 市民等が触れることができるよう整備活用されている史跡等の数（累計）		担当課	文化財課
			担当係	保存活用担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	令和06年度 ~ 令和07年度		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市民・関係者・関係機関			史跡の保存整備事業の基礎となる「史跡阿志岐山城跡保存活用計画」について、有識者で構成した計画策定委員会を設置して策定します。計画内容については、関係者等や文化庁・福岡県とも協議します。 (令和6年度) 予定通り事業に取り組みました。 計画策定委員会 3回実施、地権者説明会 1回実施 関係者協議 適宜実施 (令和7年度) 計画策定委員会 4回予定 パブリックコメント実施の後、計画を策定します 計画策定後に、文化庁長官認定を申請します。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
国史跡阿志岐山城跡が有する価値や、史跡の現状と課題を分析・整理し、史跡を適切に保存活用するための方針を「保存管理、調査・研究、活用、整備、運営・体制」の項目で示します。この方針を、史跡の関係者、関係機関で共有し、国史跡阿志岐山城跡を後世にわたって適切に守り伝え、市民に親しんでもらえるようにします。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
市民等が触れることができるよう整備活用されている史跡等の数									
5. コスト									
事業費		計	千円	2,000	3,970				
		国	千円	1,000	1,985				
		県	千円	300	300				
		地方債	千円		0				
		その他	千円		0				
正職員人工数		人工		0.7	1				
正職員人件費		千円		5,616	8,381				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円		7,616	12,351				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		< 状況 > 令和6年度の事業は滞りなく進捗し、計画の策定が進んでいます。 < 原因 > < 課題 >							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	< 状況 > < 原因 > < 課題 >					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
史跡の保存活用のため、多くの関係者・関係機関との協議に時間を要していますが、丁寧に対応しています。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄						
国史跡の保存活用のため、各史跡の保存活用計画が文化財保護法に基づく計画に位置付けられました。			対象補助： 国文化庁 史跡等保存活用計画等策定補助金（補助率50%） 福岡県 文化財保護補助金（定額）						